

保護者様

京都市立深草小学校

校長 徳留 祐悟

令和6年度 学校評価アンケート(2月実施)の結果

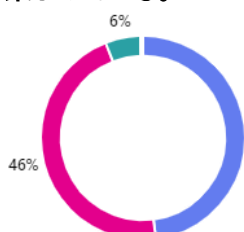
早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、2月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者の皆様からは471件の回答(回収率63%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

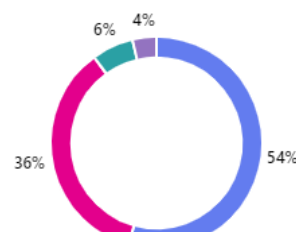
① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。

- そう思う 48%
- 大体そう思う 46%
- あまりそう思わない 5.6%
- そう思わない 0.4%



(児童)学校が楽しい。

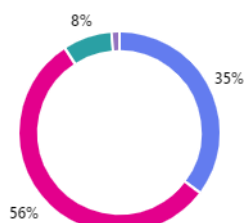
- そう思う 54%
- 大体そう思う 36%
- あまりそう思わない 6%
- そう思わない 4%



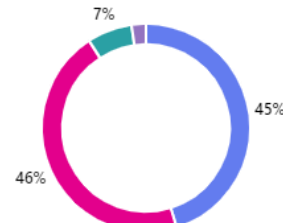
学校が楽しいと思ってくれている児童がたくさんいることは大変うれしいことです。しかし、前期と比べると、「そう思わない」と回答した子が数名増えています。来年度はより一層子どもに寄り添い、悩みや困りを一緒に解決し、一人ひとりが安心できる居場所を見つけられるように日々の教育活動を進めていきたいと思ひます。

② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。

- そう思う 35%
- 大体そう思う 56%
- あまりそう思わない 8%
- そう思わない 1%



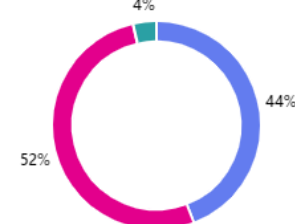
- そう思う 45%
- 大体そう思う 46%
- あまりそう思わない 7%
- そう思わない 2%



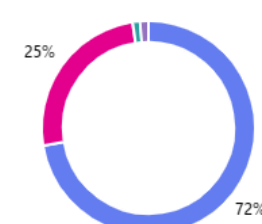
前期と比べても大きく変わりはないですが、各学年で2学期以降は学習内容も難しくなってくるため、授業がわからないと感じる児童は増えてきます。各教科や単元の特性に合わせて、授業形態を工夫しながら、児童の学習理解を深められるように、授業改善に努めていきたいです。また、GIGA 端末も活用しながら、個別最適な学びも促進していくように、研鑽を積んでいきたいと思ひます。

③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。

- そう思う 44%
- 大体そう思う 52%
- あまりそう思わない 4%
- そう思わない 0%

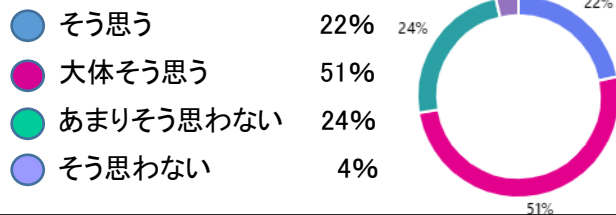


- そう思う 72%
- 大体そう思う 25%
- あまりそう思わない 2%
- そう思わない 1%

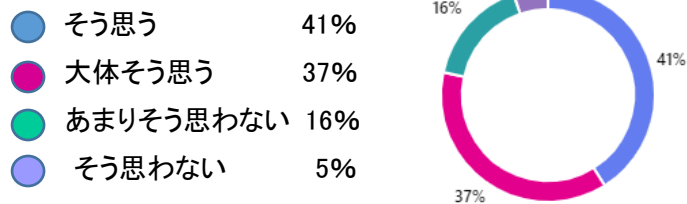


本校の取組として、1年生から6年生を一つのグループにして活動する縦割り活動「なかよしタイム」というものがあります。「なかよしグループ」で一緒に遊んだり、「なかよしハイク」で校区内をハイキングしたりする様子を見ていても、上級生が下級生に優しく接する姿がたくさん見られます。来年度も、上級生の姿から下級生が優しさを感じ取り、優しさを広げていってほしいと思ひます。

④ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでしている。

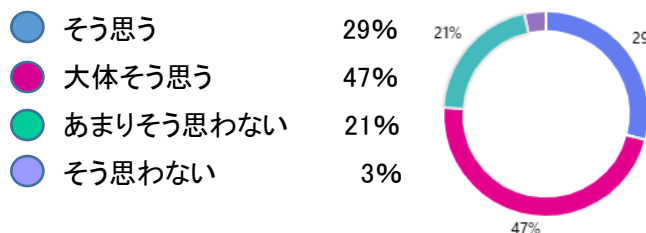


(児童)自分から進んで挨拶をしている。

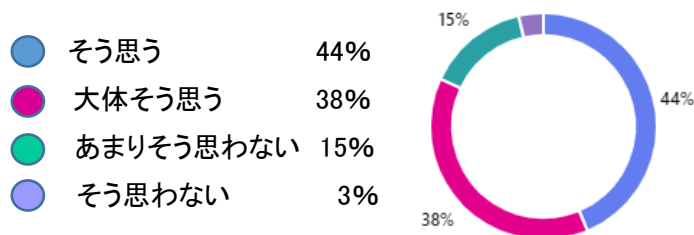


残念ながら、前期と比べ、挨拶ができていると回答した児童の数は少しだけ減っていました。『挨拶運動』などで一時的には挨拶ができる子が増えるのですが、“自分から”となると進んでできる子はまだ少ないです。あいさつすることが何のためなのか、そののよさを感じられるように、繰り返し働きかけていきたいと思います。

⑤ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。

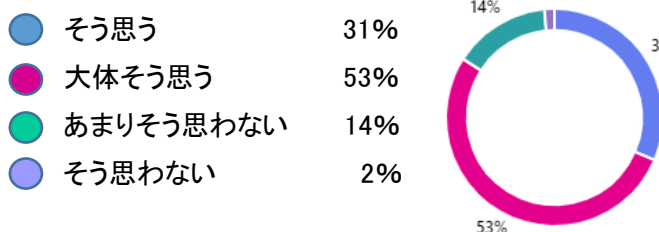


(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。

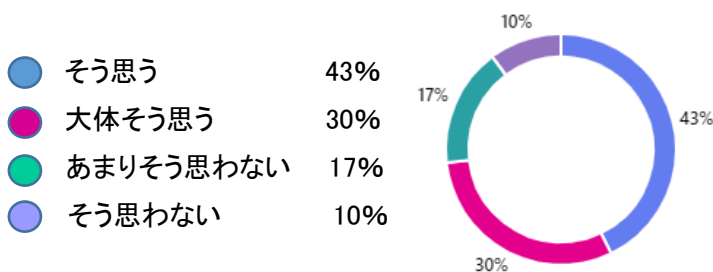


保護者の評価としては、わずかながら習慣がついてきたと回答した方が増えました。しかし、児童については、できていないと回答した子が増えました。質問②の基礎学力の定着にも関わることで、学習内容が難しくなることで、家庭学習にも気持ちが向きにくくなる児童がいるのかと思います。日々の積み重ねの大切さを実感できるように、家庭学習の取り組み方も工夫していきたいと思います。

⑥ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。

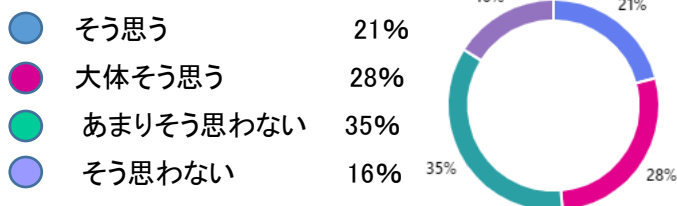


(児童)家の人に学校での様子を話している。

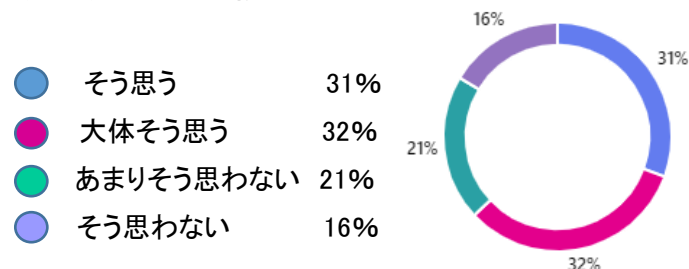


前期同様に、アンケート結果からは、子どもたちからの話やおたより、HPなどで学校の様子を知っていただけているように感じます。しかし、学校の様子をもっと知りたいと思われる保護者もおられます。学校の取組や児童のがんばりを発信することで、子どもとの会話のきっかけになれるように努力をしていきたいと思います。

⑦ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が身についている。

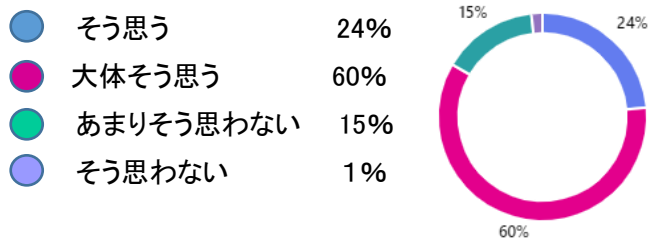


(児童)家で進んで読書をしている。

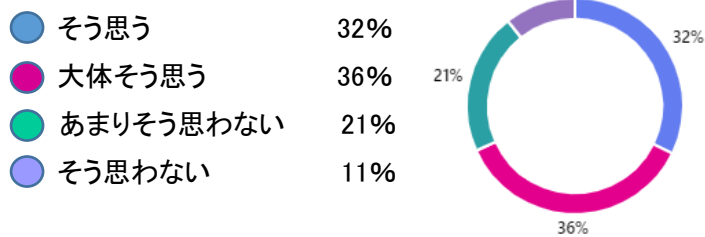


読書習慣が身についてきた回答された保護者がわずかながら増えました。併設している深草図書館から学級文庫としてたくさんの本を借りることができることで、朝読書では、様々な本に親しんでいる姿が見られます。読書環境を整えることで、子どもたちは本を手に取り、読み始めることがわかります。お忙しいとは思いますが、各ご家庭でも本を手に取り、読書する時間をつくっていただけるとありがたいです。

⑧ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いてくれたり相談に乗ってくれたりしている。

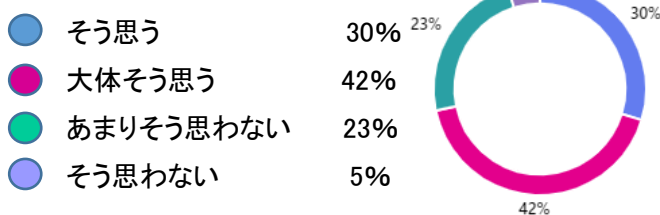


(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したりしている。

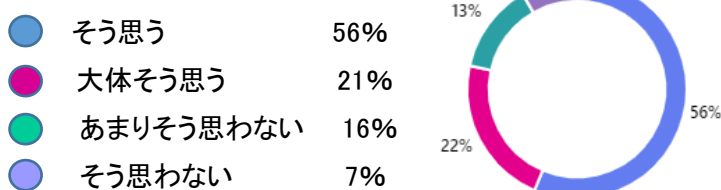


学校で困ったときに先生に相談しにくいと回答している児童が約30%いることは、前期に引き続き、課題として重く受け止めていかなければいけません。「チーム担任制」を始めて1年、担任が途中で交代することに慣れない児童もいたことがうかがえます。しかし、たくさんの教職員と関わることができたことで、今後、学年が変わっても知っている教職員がいたという安心感につながればよいと考えています。

⑨ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が身についている。

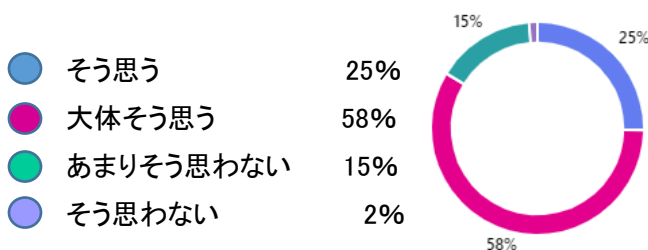


(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。

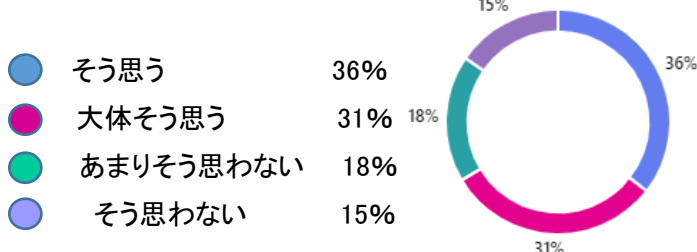


前期とほとんど変わらない結果となりました。休み時間や放課後に、外で遊ぶ児童はたくさんいるのですが、ずっと室内で過ごしている児童との2極化があります。体を動かすことで、体力の向上にもつながりますので、体育科の学習や委員会活動等と連携し、積極的に体を動かせる機会を増やしていきたいと思います。

⑩ (保護者)テレビやゲーム、インターネットなどの使い方のルールを話し合っている。

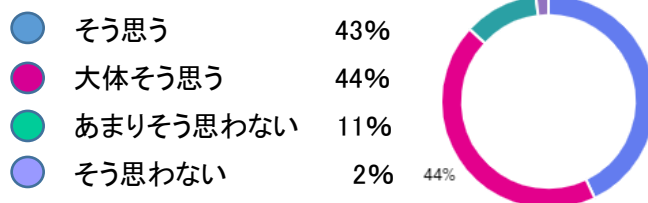


(児童)テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて行っている。

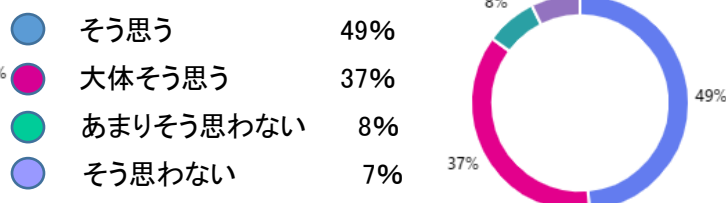


前期と比べ、保護者の方については、使い方のルールを話し合っているという回答が少しですが増えました。しかし、児童の方は、行えていないと回答した児童が少し増えていました。インターネット等のゲームには依存性もありますので、各家庭でしっかりとルールを決めて、使用できるように、「深小ねっとルール」も活用していただきたいと思います。学校でも、有効に活用できるよう、情報モラルや情報リテラシーについて伝えていきたいと思っています。

⑪ (保護者)子どもは、基礎的生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。



(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校している。



前期とほとんど変わらない結果となりました。保健室からの「生活リズム調べ」の結果からも、高学年になるにつれ、就寝時刻が遅くなっている傾向があります。成長期にある子どもたちにとって、睡眠時間の確保は不可欠です。早寝早起きで、生活のリズムを整え、毎日元気に登校してきてくれるのを待っています。